

[ 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場 ]  
令和 4 年度業務計画  
[ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業 ○：共催事業  
を示します。  
※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標 ■：定性的指標  
を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜市磯子区民文化センター
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目1番1号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上30階建ての、南棟1階および4階から7階部分の一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	延床面積 2,999.72 m <sup>2</sup>
開館日	平成17年2月5日

### 2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
代表団体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

### 3 指定管理に係る業務方針

#### (1) 基本的な方針

##### 【総合的な方針】

これまで築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、文化の力で地域の活力を向上させ「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献する

##### 【第4期指定管理期間中の取組】

多様な区民の社会参画の機会創出  
文化的コモンズ形成

#### (2) 令和4年度の業務の方針及び達成目標

新型コロナウイルス感染症の再拡大等があっても、地域の文化活動の拠点としての機能を発揮できる、「with コロナ」社会に対応した体制を構築していきます。

- ・社会的包摂の視点を踏まえつつ、幅広い方々が音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供する

◇達成目標：「杉劇アート de にこにこプロジェクト」を開催する

- ・多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものとする  
◇達成目標：「杉劇リコーダーズ」「杉劇☆歌劇団」「地元発掘映像交流プロジェクト」の活動を通じて、地域のコミュニティーの間のつながりを強化する
- ・地域の様々な施設・団体・資源（教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつける  
◇達成目標：「杉劇夏まつり」、「杉劇ひばりの日 2022」などの企画を、「新しい生活様式」に則した「with コロナ時代」に対応した企画として開催する。

#### 4 業務の取組と達成指標

##### (1) 事業計画

ア 使命1：磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらず幅広く幅広い属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

◇◇あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

[取組内容]	[達成指標]
<p>1 障がいのあるなしに関わらず、あらゆる人が文化に触れることで、共感し、笑顔になる企画「杉劇アート de にこにこプロジェクト」を開催します。</p>	<p>1 障がいのある子どもたちや、地域で活躍の場を見つけようとしている障がいのあるアーティストたちと、地域で活躍する若手アーティストたちをつなぎ、それぞれの得意とするジャンルで創造性を刺激する「杉劇にこにこ見本市」を開催します。</p> <p>脳性まひ・知的障害の演奏家の野村琴音と、地元で活躍する若手シンガーソングライターも参加するユニットを中心としたライブや、ダウン症や知的障がいなどのある子どもたち、特別支援学級に通う子どもたちと、当館で発足し当館を拠点に活動を続ける杉劇☆歌劇団による地元を題材にした新作芝居制作を発表する「杉劇にこにこパフォーマンス」を開催します。</p> <p>地域の魅力をさらに、障がいのある人の視点や、空撮での視点を取り入れ、地域住民と視点と交差させていくことで地域の魅力を再発見する「地元発掘映像交流プロジェクト」を実施する。</p> <p>特別支援学級の子どもたちやダウン症、自閉症などの障がいがある子どもたちと小学生が杉田劇場や公園、地域の文化施設でアートに触れ合える場を創出する「杉劇にこにこワークショップ」を実施する。</p>

<p>2 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます</p> <p>3 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくります</p> <p>4 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします。</p>	<p>障がいのある若手ドローン・パイロットの描き出す空撮映像と、これまで杉田劇場での舞台の構成・台本を手掛けてきたこともある地域で活躍する構成・台本作家と共に、地域住民や団体と、3年かけて、地域発の映像作品「いそご物語（仮）」を制作するプロジェクトを開始します。</p> <p>2 こどもたちが様々な文化芸術を体験する機会として「杉劇アート体験塾」を年3回実施。「横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム」については、プラットフォーム事務局とも連携し積極的な参加を学校に呼びかけていきます。</p> <p>また、「with コロナ」の環境下で、学校内での活動が制限される傾向にあることを踏まえ、授業や行事などのために積極的に施設を提供していきます。</p> <p>3 感染拡大防止策等を徹底しつつ、文化芸術を切り口にした施設と地域の交流行事として、「杉劇ひばりの日2022」「杉田劇場夏まつり」「杉田劇場にこにこ冬まつりライブ」を実施します。</p> <p>4 音響、照明等のホールの特性を生かしたクラシック・ジャズのコンサートや、朗読歌劇・一人芝居など多様な企画公演を開催します。</p> <p>また、「横浜音祭り2022（仮称）」の開催年であることから、これに連携したコンサートを企画・実施します。</p>
---	---

イ 使命2：芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げることに貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

◇◇すべての区民が文化の担い手一人ひとりが生きる力を育む場になります

[取組内容]	[達成指標]
1 「with コロナ」社会に適応した、新しい形の地域文化の担い手づくりに寄与します	1 「with コロナ」社会で、三密(密集・密閉・密接)の回避など生活様式や行動習慣の変容が求められています。そのため、地域の文化活動を多様な形で支えていただける新たな人的資源の育成のため、文化施設や文化活動における新たな課題の解決に役立つ知識やスキル、ファシリテーターとなれる人材を養成する講座を開催します。 ・多文化・多言語コミュニケーションのための研修 ・劇場でのバリアフリー、救命・AED操作、災害時の誘導等の研修
2 杉田劇場発、「杉劇リコーダーズ」が地域の課題解決のために活動します	2 「杉劇リコーダーズ」の活動を、新型コロナウイルス感染拡大状況に左右されずに実施できる体制を構築し、施設の内外での活動を充実させていきます。また、ネットを通じての動画配信や、感染症拡大防止を徹底したうえでアウトリーチ活動を実施します。
3 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をともに創ります	3 杉田劇場で生まれた「劇団横綱チュチュ」「劇団糸」の活動をサポートします。
4 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します。	4 「いそご文化資源発掘隊」「こども文化資源発掘隊」「杉劇☆歌劇団」を継続実施します。
5 様々なバックボーンのインターン・職業体験の受け入れ	5 小・中学生の職業体験学習、大学生のインターンシップの受け入れなど、未来の担い手育成に積極的に取り組んでいきます。

ウ 使命3：地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げることにより貢献する。

◇◇文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場になりたい

<p>[取組内容]</p> <p>1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります</p> <p>2 地域課題への「気づきの場」としての事業展開</p>	<p>[達成指標]</p> <p>1 0歳から楽しめる「ひよこ♪コンサート」を、内容を変えながら年3回実施します。 また、新型コロナウイルス感染拡大のため休止していた「ロビーパフォーマンス」、「おでかけパフォーマンス」「杉劇ちょこっとカフェ」を状況に応じた形での開催にむけた検討をすすめます。</p> <p>2 区内の小中学校の「スピーチコンテスト」などの行事や、部活動といった文化的な活動の場を提供するとともに、様々な地域の団体との連携を深め、各イベントを通して地域課題の解決に取り組みます。</p>
--	---

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源（文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>文化的コモンズを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します</p>	<p>[達成指標]</p> <p>1 アウトリーチプログラム等を通じて、地域の小中学校や商店街、町をつないでいきます。</p> <p>2 学校教員の文化体験や研修を実施し、学校とのつながりを強化し、学校独自の舞台づくりなどを支援するとともに、本格的な舞台として杉田劇場ホールの利用については優先利用などを考慮することとしていきます。</p> <p>3 警察・消防等と連携し、防犯・防災などの広報活動や施設での情報発信等に協力していきます。</p> <p>4 磯子区内の企業等で構成されている磯子事業会や町内会などと連携しイベント等に出演していくことに加え、イベント企画の相談や出演団体やアーティストなどのコーディネートを行っていきます。</p> <p>5 駅前にある公共施設として、あらゆる人が安心して安全でいられる場所づくりをしていきます。</p>
--	---

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

◇◇「今日は何をやっているのかな?」「誰がいるかな?」声を掛け合うみんなの広場になります

[取組内容]	[達成指標]
1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします	1 利用者サービスの拡充として導入したチケットシステムを、来館しなくてもコンビニで発券できることを、三密回避等の感染拡大防止策としても周知・活用していきます。
2 ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります	2 館内の設備や掲示等について、多様な利用者の意見に耳を傾けて、ユニバーサルデザインの思想に沿って更新していきます。 また、横浜市ウェブアクセシビリティ方針にそった、施設WEBサイトの改善計画を検討します。
3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります	3 施設利用者や来場者など、皆さまの要望や満足度などをアンケート調査しサービス向上に努めます。利用者アンケートの回収率については、ホール、ギャラリー60%、リハーサル室50%、練習室30%とします。
4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます	4 貸館利用率70%を目標とします。
5 施設利用に関わる個人情報の保護	5 利用者及び来場者の満足度測定80%の方々が満足とアンケート回答を目標とします。

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

◇◇様々な人が訪れ 集い 憩う場所として安全・安心・快適な場であり続ける

[取組内容]	[達成指標]
1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施	1 施設の経年劣化にともなう不具合を早期発見・早期対応するとともに、より効率的な修繕手法を検討し、効率的に実施していきます。
2 利用者に安心快適な日常における保守管理	2 各種の災害や新型コロナウイルス等の影響などを踏まえた運営をするとともに、施設の状態や対応状況などを適宜発信していきます。

3 保守管理業務における委託業者について	3 12条点検、消防法立入検査及び建築局劣化調査による指摘への対応率 100%
4 適切な修理・改善対応の実施	4 施設管理者点検及び日常点検での不具合内容への対応率 100% 施設の管理瑕疵に起因する事故ゼロ 区と実施するモニタリングにおける複合施設修繕案件や計画の情報共有率 100% 共用部分の修繕についても、ビル管理会社等とも連携して迅速かつ円滑に実施します。
5 感染症対策等衛生管理	5 横浜市の「ガイドライン」や、各種の通知・方針、それぞれの業界団体ごとの「ガイドライン」を踏まえ、常に最新の基準に沿った、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底していきます。

(2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

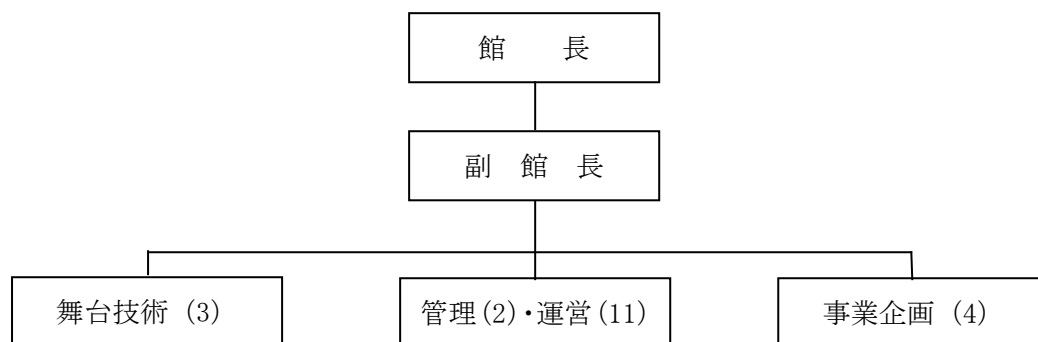
[目指す成果]	[取組内容及び達成指標]
1 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営を行います。	1 共同事業体4者が一丸となって施設運営や事業にあたり人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。
2 各団体が業務を分担し、適切に人材を配置し、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制をとります	2 常日頃から多角的に利用者・来館者のニーズを把握し、施設運営にフィードバックします。
3 施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します	3 舞台管理に関しては、構成団体の有限会社アイコニクスが常駐し、舞台技術の専門家として利用者へのアドバイスや技術サービスの提供を行います。

イ 必要人材の配置及び能力担保

1. 共同事業体の構成

財団（館長、副館長）／NPO 法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／  
（有）アイコニクス（舞台、運営）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）

2. 人員体制



役職・担当		所属
館長		財団
副館長		財団
舞台	照明	アイコニクス
舞台	音響	アイコニクス
舞台	舞台	アイコニクス
管理	経理・労務	チーム杉劇
管理（補助）	庶務等	チーム杉劇
事業企画／事業企画チーフ		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営		アイコニクス
運営（コンシェルジュ）		10名 チーム杉劇（パート）

※設備管理のニックスサービスは常駐しない。

※舞台技術担当の事業体のスタッフが事務所内の運営業務を担当し、シフトにも入る。

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。



(3) 管理について

ア 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p><b>【事故・防犯に対する取組】</b></p> <p>こども、高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、それぞれに対するリスクチェックを行ったうえで施設のハード面、ソフト面の課題を把握し、対策と対応を「事故防止マニュアル」として整備・更新します。</p> <p>事故やヒヤリハット事例は、記録簿に残しミーティングで共有し、事故防止力の向上を図ります。</p> <p><b>【コンプライアンス、個人情報保護の徹底】</b></p> <p>継続的な研修や資料配布等を通じて、個人情報の取扱いに対するスキルと意識の向上に努めます。</p> <p><b>【施設利用者と連携した施設運営】</b></p> <p>ホール利用者には、打合せ時に「避難誘導についての手引き」を配布し、緊急時等の対応を説明します。また、横浜市の「ガイドライン」等に基づいた「感染拡大防止のための案内」などを配布し、その時点での社会状況に応じた情報提供と協力依頼を行っていきます。</p> <p><b>【「安全・安心な施設」への取り組み】</b></p> <p>職員は始業前点検として開館前に諸部屋を巡回し、設備の損傷確認と不審物等の確認を行います。</p> <p>舞台に関わる事故を防止するため、舞台スタッフによる設備点検を徹底するほか、利用者に対して利用時の注意喚起を行います。また舞台機構操作ならびに照明機材の吊込み等、危険を伴う作業については必ず舞台スタッフが行います。</p> <p>複合施設であり不特定多数の方が利用し、不審者の侵入も懸念されるため、職員による定期的な館内巡回を実施するほか、監視カメラによる録画と、モニターによる館内状況の監視を行い防犯に努めます。</p> <p><b>【近隣施設・組織と連携した取り組み】</b></p> <p>複合施設内の商業施設の防災センターとは常に連絡が取れる体制をつくり、事故や事件の発生を未然に防止します。</p> <p>緊急事態が発生した場合は、緊急連絡網により区役所</p>
--	---

	<p>を含む関係各所へ連絡し必要な対応にあたります。          窓口などへ認知症状の見られる高齢者が来訪したり、          様々な事情を抱える方が施設内に長時間滞在すること          もあるため、警察や近隣の福祉施設等とも連携・協力し          必要な対応にあたります（磯子区内の施設間会議等へ          の定期的な参加）</p> <p><b>【防災に対する各種研修・訓練の実施】</b></p> <p>1 救命救急研修          救急救命の初期対応、AEDの使用方法の習得          （施設内にAED1台を常備）</p> <p>2 災害時対応研修          交通遮断時等の対応確認/ 帰宅困難者一時受入れ時          の行動確認</p> <p>3 防火・防災訓練          自衛消防隊の組織確認/ 消火訓練/ 消防設備等の位置          確認/ 消防計画及び災害時行動計画の確認</p> <p>4 避難訓練          開館中の災害発生を想定した訓練を管理組合との連携          により実施します。</p>
--	---

## 5 収支について

### （1）利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>[取組内容]</p> <p>新型コロナウイルスの影響で縮小した施設          利用に対する需要を喚起するため、積極的          な情報発信や丁寧な利用案内をしていき          ます。</p> <p>利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次          世代育成を目的とし既存の割引制度に加          え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置          （特別料金設定）を実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校連携事業              磯子区内の学校等の利用              磯子区内の小・中・高校の利用の場合、部活動も含め              て、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金につ              いては、特別料金を設定します。</li> <li>・会議室利用促進              磯子事業会、磯子区商店街連合会などに加入の企業や              店舗にPRし、各団体と調整し、利用手続きの簡略化              をして使いやすくします。</li> </ul> <p>指定管理者が主催または共催する事業          主催事業については全額減免、共催事業については条件          等により、10%～50%の減免を適用</p>
---	--

### （2）指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>1 利用料金を増やすために平日利用を増やします。</p> <p>2 チケット収入を増やします。</p> <p>3 助成金・協賛金・広告収入を増やします。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>1 ホール平日利用の取り組みとして学校等を対象とした、特別設定の料金での施設貸出ルールを設定します。</p> <p>2 チケット販売促進のため、コンビニでも発見できるオンラインシステムを積極的に活用するとともに、企画の特性に合わせた販売ツールやプレイガイドを選択し、入場料収入の増加に努めます。</p> <p>3 事業規模の小さい企画や特定の分野等に適用される助成金に積極的に申請していきます。 また、イベントカレンダーやチラシに広告枠を用意し、年度の初めに依頼をかけて、広告を出してくれる先の要望に合わせて、該当事業を選択し、広告収入を増やします。</p>
---	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>1 業務の効率化</p> <p>2 人材の効率的活用</p> <p>3 年間の事業収支バランス</p> <p>4 エコ活動の推進</p>	<p>[達成指標]</p> <p>1 特定の職員に業務が集中しないように、絶えず配分を見直し、全職員で補いあうことで、職場全体のワーク・ライフ・バランスを保ち、急激な状況の変動にも対応できる体制にします。</p> <p>2 4者共同事業体の中で情報共有を随時行い、各段階での連携を強化します。また、舞台技術を担当する事業体のスタッフが運營業務の補助も行い、より効率的なシフトとします。</p> <p>3 年間事業収支のバランスチェックを個々の事業終了後から月ごとに変更し、早めに見直すことで、収支バランスを保ちます。</p> <p>4 産廃ゴミ分別の徹底、古紙リサイクルを今後も推進します。</p>
---	---

**令和4年度 「横浜市磯子区民文化センター」 収支予算書兼決算書**  
(2022. 04. 01～2023. 03. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	131,372,000		131,372,000		131,372,000	横浜市より
利用料金収入	17,680,000		17,680,000		17,680,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	21,651,000		21,651,000		21,651,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	3,447,000	0	3,447,000	0	3,447,000	
印刷代	27,000		27,000		27,000	
自動販売機手数料	100,000		100,000		100,000	
駐車場利用料収入	3,300,000		3,300,000		3,300,000	
その他（広告ラック収入・預金利息）	20,000		20,000		20,000	
<b>収入合計</b>	<b>174,150,000</b>	<b>0</b>	<b>174,150,000</b>	<b>0</b>	<b>174,150,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>46,945,000</b>	<b>0</b>	<b>46,945,000</b>	<b>0</b>	<b>46,945,000</b>	
給与・賃金	39,309,000		39,309,000		39,309,000	館長、副館長、管理運営・受付スタッフ、事業スタッフ
社会保険料	4,810,000		4,810,000		4,810,000	
通勤手当	2,270,000		2,270,000		2,270,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	58,000		58,000		58,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000		42,000	
退職給付引当金繰入額	456,000		456,000		456,000	
<b>事務費</b>	<b>9,500,000</b>	<b>0</b>	<b>9,500,000</b>	<b>0</b>	<b>9,500,000</b>	
旅費	180,000		180,000		180,000	出張旅費
消耗品費	4,400,000		4,400,000		4,400,000	事務消耗品費、駐車券仕入
会議贈い費			0		0	
印刷製本費	380,000		380,000		380,000	
通信費	750,000		750,000		750,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	2,800,000	0	2,800,000	0	2,800,000	
横浜市への支払分			0		0	目的外使用料等
その他	2,800,000		2,800,000		2,800,000	リース経費等
備品購入費	300,000		300,000		300,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	380,000		380,000		380,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	80,000		80,000		80,000	
リース料			0		0	
手数料	180,000		180,000		180,000	
地域協力費			0		0	地域イベントの協力費等
<b>事業費</b>	<b>21,175,000</b>	<b>0</b>	<b>21,175,000</b>	<b>0</b>	<b>21,175,000</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	21,175,000		21,175,000		21,175,000	
自主事業費			0		0	イベントの実施
<b>管理費</b>	<b>88,796,000</b>	<b>0</b>	<b>88,796,000</b>	<b>0</b>	<b>88,796,000</b>	
光熱水費	14,000,000	0	14,000,000	0	14,000,000	
電気料金	9,500,000		9,500,000		9,500,000	
ガス料金	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
水道料金	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
清掃費			0		0	日常・定期清掃費
修繕費	2,196,000		2,196,000		2,196,000	
機械警備費	260,000		260,000		260,000	
設備保全費	38,840,000	0	38,840,000	0	38,840,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	38,840,000		38,840,000		38,840,000	設備、清掃、舞台技術、舞台保守点検等
共益費	33,500,000		33,500,000		33,500,000	管理費、修繕積立金等
<b>公租公課</b>	<b>1,534,000</b>	<b>0</b>	<b>1,534,000</b>	<b>0</b>	<b>1,534,000</b>	
事業所税			0		0	
消費税	1,322,000		1,322,000		1,322,000	
印紙税	212,000		212,000		212,000	
その他（ ）			0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>6,200,000</b>	<b>0</b>	<b>6,200,000</b>	<b>0</b>	<b>6,200,000</b>	
本部分	6,200,000		6,200,000		6,200,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
<b>二一ス対応費</b>			<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>174,150,000</b>	<b>0</b>	<b>174,150,000</b>	<b>0</b>	<b>174,150,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		